

高等学校保健体育科採点基準

4枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 (例)		採 点 上 の 注 意	配 点
1	1	(ア)	実践		各2×8
		(イ)	必要性		
		(ウ)	技能		
		(エ)	課題		
		(オ)	伝える力		
		(カ)	経験		
		(キ)	責任		
		(ク)	違い		
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に必要な情報の収集</li> <li>・データの管理・分析</li> <li>・課題の発見や解決方法の選択</li> </ul>	2つ書かれていればよい。 順序は問わない。 問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。	各4×2	24
2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境条件を把握し、それに応じた運動、水分補給を行うこと。</li> <li>・暑さに徐々に慣らしていくこと。</li> <li>・個人の条件を考慮すること。</li> <li>・服装に気を付けること。</li> <li>・具合が悪くなった場合には早めに運動を中止し、必要な処置をすること。</li> </ul>	順序は問わない。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてよい。	各4×5	
	2	<p>氷水（冷水）に全身を浸す。</p> <p>水道につないだホースで全身に水をかけ続ける。</p>	内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてよい。	各5×2	

高等学校保健体育科採点基準

4枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点	
3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが簡単に取り組むことができる運動。</li> <li>仲間と協力して楽しくできる運動。</li> <li>心や体が弾むような軽快な運動。</li> </ul>	順序は問わない。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 3	27
	2	運動を通して、体がほぐれると心がほぐれ、心がほぐれると体が軽快に動き、仲間の心も一層解放されるように、自己や他者の心と体は、互いに影響し合い、関わり合いながら変化すること。	問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。	9	
	3	計画の内容が一部の能力のみの向上を図るのではなく、総合的に体の動きを高めることで調和のとれた体力の向上が図られる計画になるよう配慮する必要がある。	問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。	6	
4	1	個人メドレー (カ)		各 4 × 2	14
		メドレーリレー (ウ)			
	2	自由形はどのような泳ぎ方で泳いでもよい。ただし、メドレーリレーおよび個人メドレーにおける自由形は、バタフライ・平泳ぎ・背泳ぎ以外の泳法でなければならない。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	6	

高等学校保健体育科採点基準

4枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点	
5	1	リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ること。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	6	
	2	(1)	(カ)		各 3 × 4	21
		(2)	(ウ)			
		(3)	(イ)			
		(4)	(エ)			
3	b		3			
6	1	(1)	抑え技	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	4	
		(2)	技をかけたときに、相手の防御に応じて、更に効率よく相手を投げたり抑えたりするためにかける技のこと。		6	
	2	図1	体落とし	各 3 × 2	28	
		図2	小内刈り			
	3	取	取は両手で受の右腕（引き手）を引き上げ保持することで、受が頭を打たずに受け身を取りやすい状態にすることができること。		問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。	各 6 × 2
		受	受は右手で握っている取の襟（つり手）を離さずに自分から受け身をとることで、安定した受け身を取ることができること。			

高等学校保健体育科採点基準

4枚のうち4

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点	
7	1	図1	トラベリング		各 3 × 3	
		図2	ホールディング			
		図3	イリーガル・ユース・オブ・ハンズ			
		(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリースローラインの後ろ、かつ半円の中に立つ。</li> <li>・ボールが上からバスケットに入る、あるいはリングに触れるようにするために、どのような方法でフリースローのショットを行ってもよい。</li> <li>・審判からボールを与えられたあと、5秒以内にボールを放たなければならない。</li> <li>・ボールがバスケットに入るかリングに触れるまでは、フリースローラインまたは制限区域内のフロアに触れてはならない。</li> <li>・フリースローをするふりをして途中でわざとやめてはならない。</li> </ul>		2つ書かれていればよい。 順序は問わない。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 2
	(1)	(a)	ドロップ		カット もよい。	各 3 × 4
		(b)	ヘアピン			
		(c)	ドライブ			
		(d)	クリアー		ハイクリアー ドリブンクリアー もよい。	
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レシーバーの態勢が整う前にサーバーがサービスをしたとき。</li> <li>・サービスのときレシーバーとサーバーの両方がフォルトをしたとき。</li> <li>・サービスが打ち返されて、シャトルがネットの上に乗ったとき。</li> <li>・サービスが打ち返されて、シャトルがネットを越えた後、ネットにひっかかったとき。</li> <li>・プレー中にシャトルが分解してシャトルの台が他の部分と完全に分離したとき。</li> <li>・コーチによりプレーが中断させられたり、あるいは、対するサイドのプレーヤーが注意をそらされたときと主審が判断したとき。</li> <li>・線審が判定できなくて、主審も判定できないときまたは、インスタントレビューシステム (IRS) でも判定できないとき。</li> <li>・いかなる不測の事態や突発的な事故が起きたとき。</li> </ul>		2つ書かれていればよい。 順序は問わない。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 2	
	3	(1)	(ア)	無死	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 3 × 3
(イ)			前の回の最後に打撃を完了した者			
(ウ)			前回から引き続き正位打者			
(2)		二塁手	右翼手からの送球を中継する役割を果たすために、右翼手と三塁ベースの直線上に入る。	問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。	各 5 × 2	
		三塁手	右翼手又は二塁手からの送球を受ける役割を果たすために、空いている三塁のベースカバーに入る。			